

諸子百家

2014 年追試

問 1 次の文章は、儒家の思想に対する他の思想家からの批判についての記述である。□ a □ ・ □ b □ に入れる人名の組合せとして正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 □ 11 □

□ a □ は、儒家の礼や仁を人為的なものとして批判し、それらが必要ない社会こそ理想であると説いた。一方、□ b □ は、儒家の仁政という考え方を批判し、法による信賞必罰の仕組みでなければ統治はできないと説いた。

- ① a 韓非子 b 墨子
- ② a 韓非子 b 老子
- ③ a 墨子 b 韓非子
- ④ a 墨子 b 老子
- ⑤ a 老子 b 韓非子
- ⑥ a 老子 b 墨子

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 1	11	⑤	2

2013 年追試

問 5 次のア～ウは、古代中国の思想家の自然観に関する説明であるが、それぞれ誰だれのことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。

16

ア 自然現象を、対立しつつ補完し合う陰陽と、すべての物質を構成する五行という概念によって説明し、さらに循環する五行の順序に従って王朝が変わるとい説を唱えた。

イ 宇宙の根源であり、万物を生み出す本質を道と名づけたうえで、人間はその道を模範として、作為的に振舞うことのない自然に従った生き方をすべきであると主張した。

ウ 万物の区別や差異は人間の視点に立った相対的なものにすぎず、本来はすべてのものが等しい存在であると説き、あるがままの天地自然に身を任せるべきであると主張した。

- ① ア 鄒 衍 イ 老 子 ウ 莊 子
② ア 孫 子 イ 鄒 衍 ウ 老 子
③ ア 莊 子 イ 孫 子 ウ 鄒 衍
④ ア 老 子 イ 莊 子 ウ 孫 子
⑤ ア 老 子 イ 孫 子 ウ 鄒 衍
⑥ ア 莊 子 イ 老 子 ウ 孫 子
⑦ ア 鄒 衍 イ 莊 子 ウ 老 子
⑧ ア 孫 子 イ 鄒 衍 ウ 莊 子
⑨ ア 孫 子 イ 老 子 ウ 莊 子

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	16	①	3

2012 年本試

問5 次のア～エは、悪い行為の抑制方法について考えた中国の思想家たちの主張であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

ア 現実の人間は、本性としてそなわっている理が気によって妨げられているため、私欲が生じる状態にある。私欲が勝つと天理を滅ぼすことになるので、本性の涵養と事物の理の探究によって本来の理を発現すべきである。

イ 特定の人間のみを愛するとその人間だけの利益をはかるようになり、その結果、争いが生じる。それゆえ、正義を望む天の意志にかなうよう、人間は国や身分の違いを超えて分け隔てなく愛し合うべきである。

ウ 私的な欲望を増大させることは人間の最大の罪悪であり、戦争もまたここから生じる。それゆえ、争いのない平和な社会のためには、人がつくった道徳を排し、あるがままの素朴な生活に満足することが大切である。

エ 人間は利己的で打算的な存在であるため、社会秩序を志向するようにはできていない。道徳によって人間を善へ教化するのは幻想にすぎず、信賞必罰を旨とする法律と刑罰によって秩序を維持すべきである。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|----|---|----|---|-----|
| ① | ア | 朱子 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子 |
| ② | ア | 王陽明 | イ | 墨子 | ウ | 老子 | エ | 荀子 |
| ③ | ア | 朱子 | イ | 墨子 | ウ | 老子 | エ | 韓非子 |
| ④ | ア | 王陽明 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子 |
| ⑤ | ア | 朱子 | イ | 孟子 | ウ | 老子 | エ | 韓非子 |
| ⑥ | ア | 王陽明 | イ | 墨子 | ウ | 孔子 | エ | 韓非子 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問5	8	③	3

2010 年本試

問 5 次のア～エは諸子百家の思想家たちの考え方であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

9

ア 人は先王によって定められた礼を身に付ければ争いを未然に防ぐことができ、各自が社会規範を守れば社会秩序は維持される。

イ 天命によって天子となった者も、ひとたびその徳を失えば新たな有徳の者にとって代われるが、その革命には武力も認められる。

ウ 高い徳を積んだ人格者が政治に当たれば、その徳はおのずから国民を感化して秩序が保たれ、国家は安寧に統治される。

エ 厳正な法に基づく信賞必罰によって利己的な本性を抑止すれば、国民は罰を恐れて悪事をなさず、安定した国家統治が実現できる。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 韓非子 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子 |
| ② | ア | 韓非子 | イ | 荀子 | ウ | 孔子 | エ | 孟子 |
| ③ | ア | 荀子 | イ | 韓非子 | ウ | 孟子 | エ | 孔子 |
| ④ | ア | 荀子 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 韓非子 |
| ⑤ | ア | 孔子 | イ | 荀子 | ウ | 韓非子 | エ | 孟子 |
| ⑥ | ア | 孔子 | イ | 孟子 | ウ | 荀子 | エ | 韓非子 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	9	④	3

2003 年本試

問 2 古代中国の諸子百家についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 儒家は，上古の聖人の道よりも仁儀礼智信といった社会生活に有益な徳を重視し，人々にこれを修得するよう説いた。
- ② 墨家は，平和主義者の立場から人民を不幸にする侵略戦争を否定するとともに，自他を区別せず広く平等に愛するよう説いた。
- ③ 道家は，現実の政治や社会の分野には関心を示さず，人々に作為を捨てて宇宙の根源である道に任せて生きるよう説いた。
- ④ 法家は，君主の徳による政治を否定し，法による信賞必罰を統治の根底に据えることで人民本位の政治を実現するよう説いた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 2	3	②	3

2002 年追試

問 3 次の文章を読み，孝についての韓非子の見方の記述として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

4

魯^ろの人が，君主に従って戦場におもむき，三度の合戦で三度とも逃亡した。孔子がそのわけをたずねた。すると，「わたしには年老いた父親がおります。わたしが死ねば，だれも養ってくれるものはございません」とこたえた。孔子は，孝行者だと思い，上位に取り立てた。こうしたことからみると，父親にとっての孝子というものは，君主には逆臣なのである。 (『韓非子』)

- ① 孝は国家秩序と衝突するものであるから，為政者が孝を尊重するのは国家の混乱を招くだけである。
- ② 孝は国家秩序と衝突しないので，為政者が社会の秩序を維持するためには，何ら孝をめぐる政策を立てる必要はない。
- ③ 孝は国家秩序の基盤となる徳であるから，為政者が人民に孝を奨励すれば，君主への忠も同時に促されることになる。
- ④ 孝は国家秩序を超越した徳であるから，為政者は国家の利益にとらわれずに，人民に孝を奨励するべきである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	4	①	3

2000 年追試

問 3 諸子百家の書物が提示している見解についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① 『荀子』は，身分秩序の守られる社会を実現するには，君主が人間に生得の同情心に基づく政治を行うべきだと説いている。
- ② 『老子』は，君主が民に武器や交通手段のような文明の利器を使わせなければ，社会の平和が保たれると説いている。
- ③ 『墨子』は，戦争がなく国々が共存する社会を実現するには，君主が質素儉約につとめるべきだと説いている。
- ④ 『韓非子』は，君主が褒美や刑罰を有効に活用することで，社会の規律が保たれると説いている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	4	①	3